

## 献血回数100回以上の功績を称える 目黒英樹さん 金色有功賞を受賞

目黒英樹さん（黒谷）が、献血回数100回に到達した方に送られる「金色有功賞」を受賞し、日本赤十字社から表彰状と記念品のガラス杯が送られました。

日本赤十字社は、継続的に献血へご協力された方へ感謝とその功労に対して、表彰（顕彰）を行っています。献血回数の確認は献血カードまたは献血手帳で確認できます。

町内では、年に2回、献血車での献血が行われています。次は10月25日（水）を予定しています。ご協力よろしくお願ひします。



▲金色有功章を受賞した目黒さん

## 淑徳大学観光経営学科 学生が町内を視察 「只見町ゼミ合宿」を実施



▲河井継之助記念館を視察し、只見町における戊辰戦争の歴史にも触れました

観光まちづくりにおける連携協定を結んでいる淑徳大学から、学生8人と黒羽先生が「只見町ゼミ合宿」として、8月28日から3日間町内に滞在し、観光施設などを視察しました。

合宿では、「三石神社」で三の岩（縁結びの岩）にこよりを通した5円玉を結ぶ「縁結び」体験や、季の郷湯ら里で郷土料理を味わうなど、只見町の観光資源や特色を体感しました。

学生たちは「どこを向いても緑（自然）が見られることは魅力的な部分だと思います」と話し、また町のPR力などの課題についても触れながら、「只見町をPRする動画を作成したい」と今後の意気込みも話しました。

## 練習の成果を発揮

## 「第10回只見地区地域づくり委員会会長杯GG大会」

只見地区地域づくり委員会の主催で「第10回只見地区地域づくり委員会会長杯GG（グランドゴルフ）大会」が9月20日に開催され、18人が参加し、日頃の練習の成果を発揮しました。

大会は、鈴木慎介さんがホールインワンを3回決めるなどし、優勝しました。



▲日頃の練習の成果を発揮し、最後まで怪我もなくプレーしました

## 2023世界全極真 東日本空手道選手権大会で快挙 菅家賢心くん優勝 佐藤佑奏さん準優勝

日本空手道神居塾只見同好会の菅家賢心君（只見小3年）が、「2023世界全極真 東日本空手道選手権大会 小学3年生男子 新人戦」で、優勝を収めました。また、同同好会の佐藤佑奏さん（明和小2年）が、同大会「小学2年生男女混合 新人戦」で、準優勝を収めました。

賢心君は「優勝できて、すごく達成感がありました。これから出場する他の大会でも優勝を目指したいです」と話し、佑奏さんは「優勝できなかったことが悔しかった。次は最後までしっかり戦いたい」と話しました。

同大会は全国規模の大会で、二人の成績は非常に大きな快挙です。

神居塾只見同好会問合せ先：TEL 090-8842-5770（責任者：三瓶）



▲準優勝した佑奏さん(中左)、優勝した賢心君(中右)

## 只見中が頑張っています！ 英語弁論、バレー、剣道 表彰等報告



▲報告に来庁した芳賀先生、松永さん、新國さん、大東さん（左から順、中は報告を受けた渡部町長）

福島県下中学校英語弁論大会が9月14日に行われ、創作の部で大東芽衣さん（1年）が第4位、暗唱の部で新國菜々香さんが第5位の成績を収めました。

また、松永紗弥さん（3年）が「ジュニアオリンピックカップ第37回全国都道府県対抗中学校大会」（12月25日～28日／大阪府）の福島県代表選手に選ばれました。松永さんは「支えてもらっていることを当たり前と思わず、11人の仲間と共に頑張りたいです」と意気込みを話しました。

さらに芳賀翔矢先生が「第71回全日本剣道選手権大会」（11月3日／東京都）の福島県代表選手として出場します。

## 只見町ふるさと親善大使 天童よしみさんを 渡部町長が訪問

「只見町ふるさと親善大使」を務める天童よしみさんを渡部町長が訪問し、面談しました。

天童よしみさんには、平成21年から「只見町ふるさと親善大使」としてもご活躍をいただいています。

今回の面談は、天童よしみさんの会津地区（会津風雅堂）でのコンサートに合わせて、行われました。



▲天童よしみさんを訪問した渡部町長ら

## いじめについて考える 只見小学校で人権教室開催

只見小学校児童を対象に人権教室が、9月12日に行われました。

人権教室は、只見町人権擁護委員の角田行雄さん、渡部早苗さんが講師を務め、児童は実例を基にした動画を見た後、いじめを通して人権について考えました。

講師の渡部さんは「自分の人権について考えることは重要です。しかし、周りの人たちの人権も守らないといけません。お互いに思いやりを持つことが大切です」と話しました。

児童からは「人を傷つける言葉をつかわない」、「いじめられている人がいたら声をかける」など教室を通して感じたことが挙げられました。



▲真剣に話を聞く児童と講師の渡部さん

## 4年ぶりの開催

## 只見地区、明和地区 町民運動会開催



▲只見地区「いきいき健康づくりフェスタ」では参加者それぞれが目一杯体を動かし、明和地区では、海外研修生も参加し国際交流の場にもなりました(右)

只見地区町民運動会が9月10日に、明和地区町民運動会が9月17日に開催されました。どちらの運動会も4年ぶりとなる開催でした。

只見地区の町民運動会では、通常競技の前に「いきいき健康づくりフェスタ」と題し、ヨガや体成分測定などが行われました。

明和地区町民運動会では、恒例の聖火入場が行われ、集落対抗リレーで最後まで盛り上がりました。

## 子どもたちが只見線のアイデアを発表 「只見線子ども会議」開催

JR只見線の利活用について、子どもたち自身で考え、提案する場として「只見線子ども会議」が、9月16日に「只見線くろすひるず」の主催で開催されました。

会議には、県内外の子どもたちが参加し、乗客増加や沿線の活性化などについて、自身で考えたアイデアを発表しました。その後、発表内容をまとめたアイデア集が、子どもたちから、渡部町長やJR東日本の吉村さん、只見線管理事務所の菅野さんに手渡されました。



▲アイデアを発表した子どもたち